

会議録

会 議 の 名 称	令和7年度第11回新城市若者議会
開 催 日 時	令和8年2月27日（金）午後7時から午後9時まで
開 催 場 所	市役所4階会議室
会 議 の 内 容	令和7年度第11回新城市若者議会 ・昨年度提案事業についての報告 ・各事業についての振り返り及び評価

1 昨年度提案事業についての報告

新城魅力探しの旅事業、若者政策10周年記念事業、TSUNAGO～未来共創プロジェクト～の3つの事業について担当課である市民自治推進課及び事業の委託先である新城若者連盟から報告した。

2 各事業についての振り返り及び評価

昨年度（第10期）のメンバーをオブザーバーとして6つのグループに分かれ、3つの事業について、各グループで良かった点、課題点、今後に生かすべき点の3つの視点による振り返りを実施した。また、振り返り後には、各メンバーによる採点評価を実施した。振り返り及び評価の結果は以下のとおりである。

(1) 新城魅力探しの旅事業

ア つながる地域と若者の輪のリニューアルについて

良 か っ た 点	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校ごとに各校の特性にあわせて実施できたこと ・地域団体が快く引き受けてくれたこと ・学校の授業の中で実施でき、参加者が多かったこと ・地区ごとの実施であったため、参加しやすかったこと ・自分の住む地域の取り組みについて知り、地域とつながるきっかけとなったこと ・参加した中学生から前向きな意見が多かったこと ・まとめ報告会で各地区の内容を共有でき、地区を超えて交流ができたこと
-----------------------	---

課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が少ない地域があり、地域ごとに参加人数のばらつきがあったこと ・参加賞など参加した証が形として残るといい ・学校で実施する場合、教員の負担が大きい ・参加者アンケートが取れていないため、今後のためのデータがない。何につなげていくかを明確にすることが必要 ・地域や若者の間に本事業が浸透していない ・全員参加にするべき ・調べ学習にとどまっているので、中学生のアイデアを生かす方法を考えるべき ・各地域でやるとなると担当課の負担が大きい ・学校の理解を得られるかで実施内容が大きく変わってくる 		
今後に生かすべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の軸を手段も含めて政策提案時に定めるべき ・地域との協力を強固にしていく ・周知を工夫し、参加者を増やす ・実施前と実施後にアンケートを取り、効果検証をするべき ・地域活動に参加できる仕組み、きっかけづくりをすること ・中学生がなぜ活発に議論できたかを検証するべき ・中学生にどうなってほしいかを最初に決める ・会議のイメージよりも、楽しさが伝わるように周知する ・個人的、長期的な取り組みが大事 ・中学生の目線に合わせた政策を考えること ・総合的な学習の時間などで取り入れてもらう ・まとめ交流会は、異なる学校の生徒と交流できる機会なので続けるべき 		
採点評価（4点満点・平均）		第11期メンバー（委員・市外委員・メンター市民）による評価	第10期メンバー及びメンター職員を含むメンバーによる評価
	①目的達成度	2.59点	2.71点
	②費用対効果	2.24点	2.54点
	③若者への影響・貢献度	2.35点	2.61点
	①～③平均	2.39点	2.62点

イ 電動アシスト付き自転車に関するアンケート及び実証実験の実施について

良 か つ た 点	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査を実施し、現状把握ができたこと ・アンケートの回答数が多かったこと ・レンタサイクルの実証実験ができたこと ・若者議会として市のイベントに参加できたこと ・電動アシスト自転車に着目したこと <p>【継続すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段を増やす ・二次交通の強化は必要である 		
課 題 点	<ul style="list-style-type: none"> ・年々厳しくなっている交通ルールをどう伝えていくか ・継続が難しい ・「じてんしゃのまち新城」の周知が不足している ・実証実験の時期が冬だったため利用者が少なかった。違う時期での実施や、期間を長くして実施するなどの工夫が必要 ・集めたデータをどのように活かしていくのか ・提案して終わりになっている。レンタサイクル設置まで至らなかったこと ・実施にあたっては、台数の確保や管理が難しい ・事業者の協力が不可欠である 		
今 後 に 生 か す べ き 点	<ul style="list-style-type: none"> ・本当にレンタサイクルが必要なのかを改めて検証する（ニーズ調査） ・事業者と協力して設置場所を増やす ・アンテナを張って、ニーズを引き出す。広報を強化する 		
採 点 評 価 （ 4 点 満 点 ・ 平 均）		第11期メンバー（委員・市外委員・メンター市民）による評価	第10期メンバー及びメンター職員を含むメンバーによる評価
	①目的達成度	1.82点	1.75点
	②費用対効果	1.82点	1.89点
	③若者への影響・貢献度	1.29点	1.21点
	①～③平均	1.65点	1.62点

(2) 若者政策10周年記念事業

ア 若者政策10周年記念イベント「わきゃっぴ祭」について

良 か っ た 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 著名人の登壇により集客できた ・ 市内や他市、ニューキャッスルの若者を巻き込むことができた ・ 多くの参加があり、活動を知ってもらうきっかけとなった ・ 準備等において多くの若者が協力し合いながら運営できた ・ 活気があった ・ これまでの若者議会の歩みを振り返るきっかけとなった ・ ポジティブな反応（関わりたいなど）が多かった ・ 他の事例を知ることができた ・ 子どもの参加が多かった ・ 国際交流の機会にもなった ・ 若者の一体感が生まれた ・ 楽しいイベントとなった
課 題 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプファイヤーが実施できなかった ・ 提案した年度時点で決まっていなかったことが多く、準備スケジュールがタイトだった ・ 運営の負担が大きかった ・ 若者主体の運営において一部の人に負担が偏ってしまった ・ 夜間の安全面 ・ アンケートの回答者数が少なかった ・ 著名人やキッチンカー以外による集客がもっと必要だった（本来の目的のコンテンツに参加してもらえていない） ・ PRが不十分（パネルなど） ・ 小学生は多かったが、より多くの若者にどうしたら参加してもらえるか ・ ターゲットが広すぎたのではないか ・ 高校の模試と日程が被っていた ・ 若者議会に関わってもらうにはさらにもう一步必要 ・ パネルの位置が遠かった
今 後 に 生 か す べ き 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案時点でもっと詳細を決めるべき ・ 記念事業は続けるべき ・ 委託者・受託者間のやり取りを強化 ・ アンケートをしっかりと取ることで事業評価をできるようにする ・ 本来の目的に沿ったコンテンツにも参加してもらえるような工夫が必要 ・ 若者を集客する工夫が必要 ・ 若者の協力による運営（協力者をもっと増やす） ・ 時間ごとにどれぐらいの人がいたかを可視化 ・ 若者が集まるイベントは今後も必要 ・ 準備スケジュールの管理 ・ ターゲットの明確化

採点評価 (4点満点・平均)		第11期メンバー（委員・市外委員・メンター・市民）による評価	第10期メンバー及びメンター職員を含むメンバーによる評価
	①目的達成度	2.88点	2.82点
	②費用対効果	2.47点	2.46点
	③若者への影響・貢献度	2.29点	2.54点
①～③平均	2.55点	2.61点	

(3) TSUNAGO～未来共創プロジェクト～

ア 若者×子ども交流イベント「JUMP UPミライフス」について

良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・企画内容がしっかりと決まっていたので、政策案としてはよい ・目標値子ども100人、ボランティア20人を達成 ・目標が数字でわかりやすい ・参加者の満足度が高く、継続希望の声が多い ・若者と子どもの交流ができた ・子どもが遊べる場所ができた ・普段できない遊びを子どもが体験できた ・バリエーションが多い
課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・規模を縮小して負担軽減 ・人員配置 ・アンケート方法を見直す ・保護者が休めるように、子どもを預かるイベントの方が良い ・ボランティアに参加した人にしか効果がない ・子育てへのイメージにつながっているのか ・交流で終わってしまっている ・ゴールを設けてしっかり意味、目的をはっきりさせるべき
今後にかさねべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模にして継続すべき ・子どもが遊べる場、普段できない遊びができる場づくりは継続すべき ・すべてのブースに参加できる仕組みづくり（スタンプラリー） ・今後についてどんなことを感じたのかアンケートを取る ・遊びのバリエーションの増加 ・アンケート内容の改善（なんで参加したのか、どんなことを感じたのかなど）

採点評価 (4点満点・平均)		第11期メンバー（委員・市外委員・メンター市民）による評価	第10期メンバー及びメンター職員を含むメンバーによる評価
	①目的達成度	2.76点	2.86点
	②費用対効果	2.35点	2.46点
	③若者への影響・貢献度	2.47点	2.61点
	①～③平均	2.53点	2.64点

イ 新城市若者ボランティア人材バンクについて

良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの情報が充実している ・情報を知ることができる ・高校生が41人いる ・依頼する団体がいる ・メールでの周知はわかりやすい ・ボランティアの需要がある ・制度自体は良い ・ボランティアをしたいと思った人が増えた
課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録人数が少ない ・登録が進んでいない ・ボランティアに参加する若者が少ない ・マッチング数が少ない ・中学生が0人 ・周知が少ない ・メールだと他のメールに埋まり気づかない ・ボランティア内容と年齢が合わない ・申し込みのハードルが高い（直接団体に申し込む等） ・マッチング率を公表していない

今後に生かすべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫をすべき ・システム（制度）は継続していくべき ・取り組みは知ってもらおう（周知） ・マッチング率の向上 ・特設ページをつくる ・マッチング方法の改善 ・中学生への登録依頼を強化 ・アンケートを取る ・ボランティア内容を分類化する（福祉系、教育系等） ・仕事としてできることをボランティアにしても人は集まらない（お金が欲しい） ・地域への貢献が少なく感じる ・個人と団体ではなく、学校と団体をマッチングさせる ・サイトをつくる 	
採点評価（4点満点・平均）	第11期メンバー（委員・市外委員・メンター市民）による評価	第10期メンバー及びメンター職員を含むメンバーによる評価
①目的達成度	1.71点	1.54点
②費用対効果	1.82点	1.82点
③若者への影響・貢献度	1.53点	1.50点
①～③平均	1.69点	1.62点

終了時間：午後9時